

【議案第97号】

指定管理者の指定について
(湯の駅おおゆ)

直売スペースや市日について

問 指定管理者の更新に当たり、直売スペースの品ぞろえを豊富にしたり市日出店者を増やす運営ができないか。

答 今後の運営に当たっては直売スペースの品切れの際に生産者が直接納入する方式や品ぞろえについて検討しながら進める。また、市日に関しては、出店者やイベントを増やしたり、地域の方々が気軽に利用できる雰囲気づくりなどの改善を図りながら、よりよい道の駅づくりを行っていく。



「湯の駅おおゆ」直売スペース

【議案第98号】

指定管理者の指定について
(鹿角市八幡平地域連携営農推進団地)

施設老朽化に伴う補修について

問 施設老朽化に伴う補修に関して、取り決めはされているか。

答 補修に関しては指定管理の基本協定に基づき、市で修繕するものと指定管理者で修繕するものに分けられており、施設の法定耐用年数に合わせて寿命を延ばすような管理をしていく方針としている。

【議案第106号】

指定管理者の指定について
(鹿角市大地平農村公園)

野外ステージについて

問 農村公園内の野外ステージは現在利用されているか。

答 現在、大きな行事での利用はない状態だが、地元地域の運動会などでは利用されている。

【議案第113号】

令和2年度鹿角市一般会計補正予算(第11号)

園芸メガ団地整備事業

問 これまでの事業費並びに補助金の総額は。

答 事業費総額については今回の補正予算前で4億6,757万2,340円となっており、補助金総額は、国・県・市の合計で、約2億8,000万円となっている。

問 今後の経営計画は。

答 来年度から、園芸メガ団地の本格的な稼働を予定しており、作付面積としてはネギ13ヘクタール、キャベツ3ヘクタールのほか、水稻84ヘクタール、大豆20ヘクタールを計画しており、園芸作物において園芸メガ団地の要件である売上額1億円を目指す計画としている。



決算特別委員会
審査概要

決算特別委員会(金澤大輔委員長)を、令和2年10月12日及び13日の2日間の日程で行い、令和元年度決算について、詳細な審査を行いました。
認定案件6件を審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計(歳入)

質問 市税について、滞納整理の主な取り組みはどのように行っているのか。

答弁 督促後に納付がない場合には、滞納者の状況に応じた随時催告により自主的な納付を促しているほか、催告に応じない場合には滞納処分を行い、新規滞納額の増加防止と繰越滞納額の縮減を図っているが、生活困窮や換価できる財産がないと認められる場合には、個々の実情を踏まえながら、法令に基づいて、執行停止などの滞納整理を行っている。

質問 ふるさと鹿角応援寄附金について、2億円を超える寄附金額についてどのように分析しているのか。

答弁 寄附の内容としては、1件当たり1万円から1万5,000円の寄附金が、全体の約9割を占めている状況であるが、昨年度から国のルールが全国一律に定着したことで、地元産品が正しく評価され、多くの方にご利用いただけたものと考えている。

今年度もふるさと納税に協力いただける事業者の追加募集をしており、今後さらに寄附金額が上回るよう努力していく。

一般会計(歳出)

質問 交流センター管理費について、コモッセの開館や人口減少などに伴い、公共施設の利用頻度が低くなっていると思われるが、今後の市内公共施設全体のあり方をどのように考えているのか。

答弁 鹿角市公共施設等総合管理計画の中で、長期的な